

1 教科について

国語

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 81.7% 県平均 78.5%

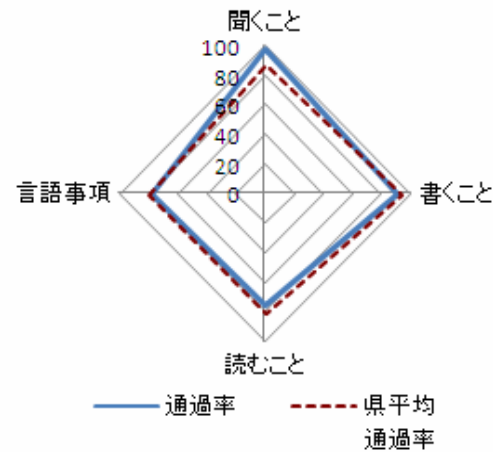
昨年度の課題

- ①要点の聞き取り
- ②ローマ字の書き
- ③場面の移り変わりや情景の想像

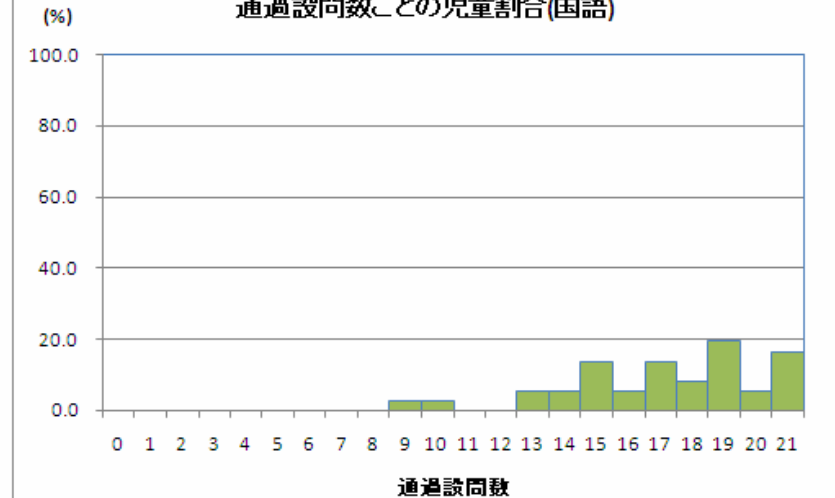
昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

- ①ことばのスキルの再話をドリル朝会で行う。  
日常的に要点をメモしながら聞く指導を行う。
- ②ドリル朝会で定着を図る（3年生以上）
  - ・ eライブラリーの活用。
  - ・ ローマ字しりとりゲーム。  
ローマ字を使う場の設定をする。（パソコン入力）
- ③人物の行動と情景の変化について読み取る授業を創る。  
読書をしっかりさせる取り組み（毎日の朝読書・家庭読書）を進める。

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査  
◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎場面の移り変わりや情景の想像
- ◎ローマ字の読み書き
- ◎段落相互の関係
- ◇登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書く。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①物語の教材の読み取り方を教える。それを自分の読書に活かせるような声かけを続ける。
- ②毎日ローマ字を書くことを取り入れる。  
(単語・文章など 学年に応じて工夫する)
  - ・ eライブラリーの活用をする。
- ③読み取った話を要約し、一文でまとめる力を育てる。  
(国語ノート、読書カードの記入)

来年度の目標値

○県平均を5ポイント上回る。

# 指導方法等の改善計画について

## 算 数

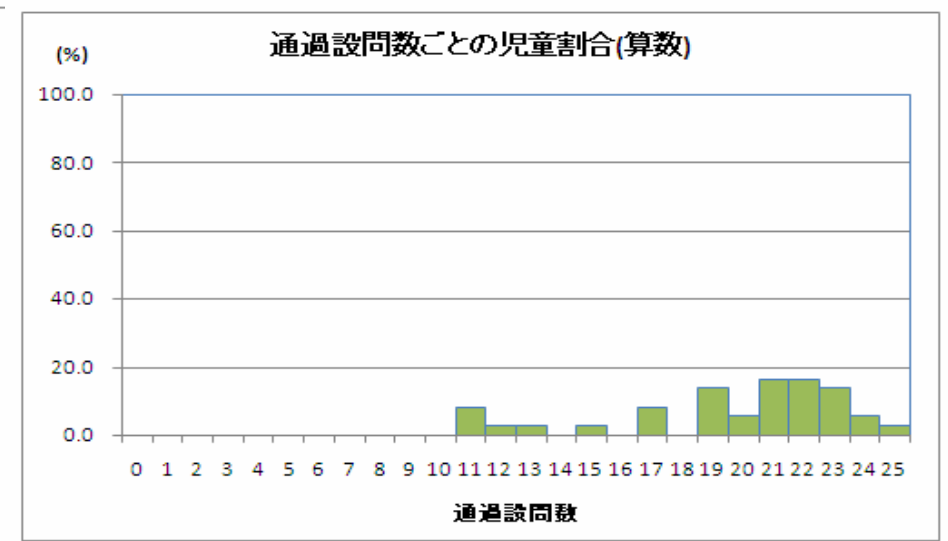
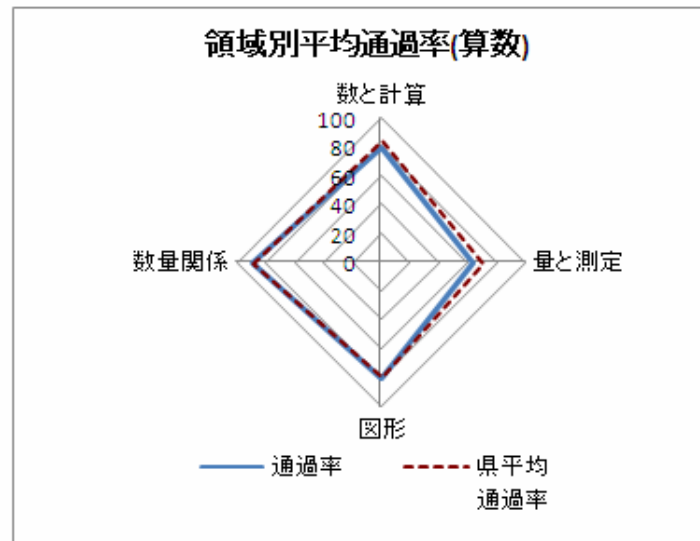
### 昨年度の課題

- ①分数の意味
- ②あてはまる面積の単位（面積の量感）
- ③伴って変わる数量（変わり方の決まりを見つける）
- ④与えられた条件に合うものを選択する
- ⑤割合の大小の判断

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

- ①I を単位量とする指導において、図に表す、半具体物に表す活動を全学年を通して、意図的に指導する。
- ②長さ・面積・体積等の量感をとらえさせるために、図に表したり、体験的な活動を取り入れたりする。  
図形の指導法を改善するために授業研究を行う。  
(2学期：2年，4年，特別支援学級)
- ③二つの数量の関係を言葉の式で表したり、式の意味の理解を深めるために二つの数量の関係を調べる活動を取り入れ、関数の考え方を伸ばす。
- ④「条件を書き出し整理する」「答えの根拠をノートに書く」「考えを説明する」学習を継続して指導する。
- ⑤「計算して割合を求める」「数直線で割合を表す」「グラフをかく」活動を取り入れる。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 78.3% 県平均 77.8%



### 重点課題 ◎：「基礎・基本」定着状況調査 ◇：全国学力・学習状況調査

- ◎複合図形の面積
- ◎分数の意味と表し方
- ◎およその重さ
- ◎概数

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

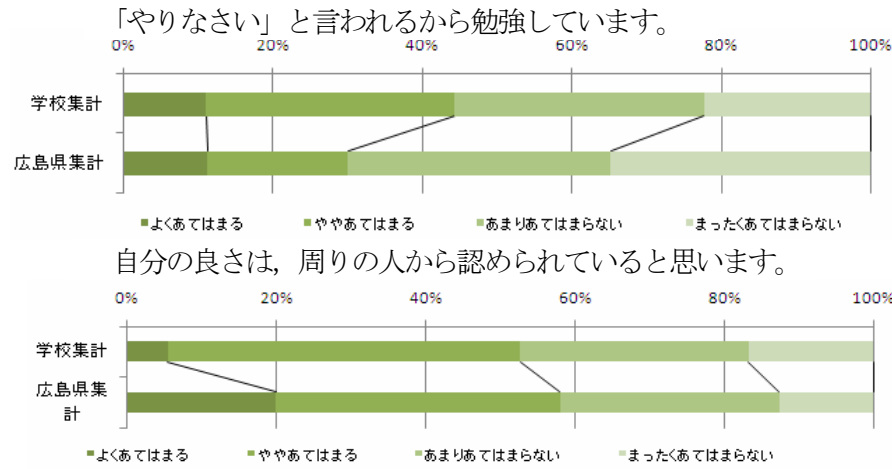
- ①複合図形に補助線や必要な長さを書き込ませながら、求積に必要な長さをはっきりさせ求めさせる。
- ②単位分数の理解が不十分なので、分数の導入で具体物や半具体物を用い、分数の表し方を実感させる。
- ③生活の中でいろいろな物の重さに触れさせ、量感を育てる。
- ④「百の位で四捨五入をする」という意味を理解できていないので、四捨五入をする位に印を付けたり、書き込みをしたりすることを普段の授業でもさせていく。

### 来年度の目標値

○県平均を5ポイント上回る。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

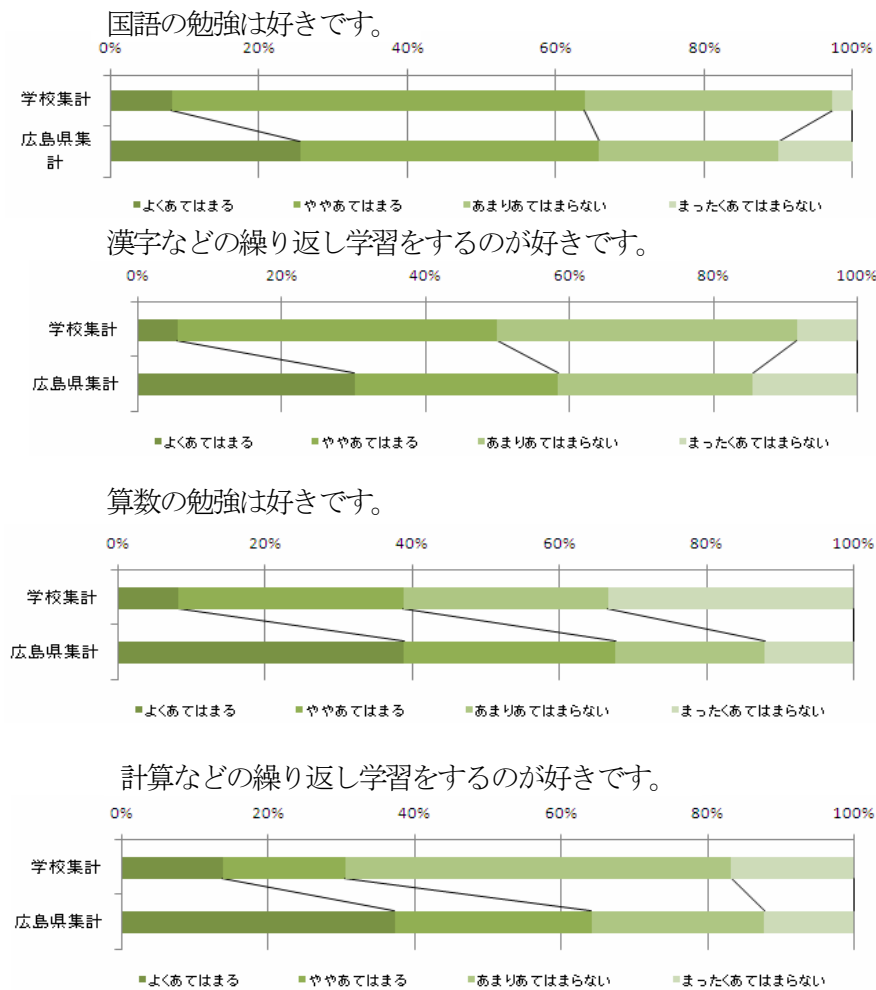
(1) 生活・学習



<p>◎学習動機が他律的な児童が多い</p> <p>◎自己効力感が低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強の目的について話し合う。</li> <li>学習したことが生活に生きていることを実感させる場面を設ける。</li> <li>長期宿泊体験学習，グループ・エンカウンターで自分のよさを見つけさせる。</li> <li>自己評価，他者評価を意図的に取り入れる。</li> </ul>
--	---

<p>来年度の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習動機が自立的な児童の割合を70%以上にする。</li> <li>自己効力感が高い児童の割合を70%以上にする。</li> </ul>
----------------	---

(2) 教科



<p>国語</p>	<p>◎国語への興味・関心が低い</p> <p>◎漢字などの繰り返し学習が嫌い。</p> <p>◇400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室環境を整え，興味・関心を高める。</li> <li>単元の導入を工夫する。</li> <li>スモールステップの適切な評価を工夫する。</li> <li>書く活動をどの授業でも取り入れ，抵抗感を減らすとともに，書くことへの興味を持たせる。</li> </ul>
-----------	--	---

<p>算数</p>	<p>◎算数への興味・関心が低い。</p> <p>◎計算などの繰り返し学習が嫌い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室環境を整え，興味・関心を高める。</li> <li>単元の導入を工夫する。</li> <li>スモールステップの適切な評価を工夫する。</li> </ul>
-----------	---	---

<p>来年度の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習への興味・関心が高い児童の割合を70%以上にする。</li> <li>繰り返し学習が好きな児童の割合を70%以上にする。</li> </ul>
----------------	--

指導改善のための実施スケジュール

